

【記入例】

採用者給料査定書

太枠で囲んだところのみ記入する

平成9年1月1日以降の  
臨時的任用時の  
職員番号

令和2年4月1日  
現在の満年齢

高等学校から記入、  
大学は専攻学科まで

留年、浪人の期間も  
職歴欄（1行目）に  
入れる

アルバイトか正式  
かを記入する

臨時的任用の場合は  
講師と記入する

非常勤講師で同じ期  
間に2校以上勤務し  
た場合

非常勤講師の場合は  
1週間あたりの授業  
時間数を記入する

月1日の初任研補充  
も記入する

※	※	所属コード 学校名	職員番号 氏名				
			→319367	戸籍上の氏名を正確に記入し、鮮明に押印する			
			和歌山 太郎 印	正規の修学年数を記入する			
生年月日		昭和・平成56年 8月13日生 38歳					
修 学 歴	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月		修学年数	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数
	〇〇高等学校 普通科	H12年 3月 卒・修		3年		年 月 卒・修	年
	〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H17年 3月 卒・修		4年		年 月 卒・修	年
職 歴	勤務場所(職務内容)		期 間		勤続年数		
	浪人		H12年 4月～H13年 3月		1年 月		
	〇〇〇株式会社(正式)		17年 4月～21年 3月		4年		
	〇〇小学校(講師)		21年 4月～21年 7月		年 4月		
	在家庭		21年 8月～21年 8月		年 1月		
	〇〇小学校(講師)		21年 9月～22年 3月		年 7月		
	〇〇高等学校(非常勤講師週2h)		22年 4月～24年 3月		2年 月		
	〇〇高等学校(非常勤講師週6h)		年 月～年 月		年 月		
	〇〇高等学校(非常勤講師週8h)		24年 4月～25年 3月		1年 月		
	〇〇高等学校(初任研補充月1日)		年 月～年 月		年 月		
〇〇中学校(講師)		25年 4月～26年 3月		1年 月			
在家庭		26年 4月～27年 9月		1年 6月			
〇〇中学校(講師)		27年 10月～R2年 3月		4年 6月			
合 計				16年 月			

- 職歴は、卒業から令和2年3月31日（令和2年4月以降作成の場合はその時点）まで、途切れることなく記入する。ただし、浪人は職歴として記入する。
- 月の途中まで在家庭でその後採用された場合、その月は採用の方に入れる。
- 月の途中で退職しその後在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。
- 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。
- 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し続きを記入する。その際、すべての用紙に記名・捺印のうえ、右上をステープラー止める。